

平成29年3月28日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 山下 尚 登
(コード番号:3022 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長
伊藤 秀憲
(TEL 092-726-8200)

**特別損失の計上ならびに
業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ**

当社グループは、本日平成 29 年 3 月 28 日開催の取締役会において、下記の通り特別損失を計上すること、及び平成 28 年 7 月 11 日に公表いたしました平成 29 年 5 月期通期の連結及び個別業績予想を最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正するとともに、配当予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 減損損失の内容

当社の佐賀支社におきまして、将来の事業計画を策定するにあたり、市場及び事業環境の変化に伴う収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、平成 29 年 5 月期第 3 四半期連結決算において、当該事業所が保有する固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、119 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該事業所におきましては、今後も継続して競争力の確保およびコスト改善等による効率化を図り、一層の収益改善に取り組んでまいります。

(2) 投資有価証券評価損の内容

当社が保有する介護関連製品を開発する新興企業への出資金の実質価額が著しく下落したことに伴い、平成 29 年 5 月期第 3 四半期連結決算において、投資有価証券評価損 29 百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績への影響について

上記の特別損失については、本日公表の「平成 29 年 5 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

3. 業績予想の修正について

(1)平成 29 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,695	418	488	285	113.90
今回発表予想(B)	51,636	98	155	△25	△10.09
増減額(B-A)	△3,058	△320	△332	△310	
増減率(%)	△5.6	△76.6	△68.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 5 月期)	51,615	584	635	332	131.46

(2)平成 29 年 5 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,575	487	290	116.00
今回発表予想(B)	51,335	112	△51	△20.61
増減額(B-A)	△3,239	△374	△342	
増減率(%)	△5.9	△76.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 5 月期)	51,338	669	334	132.52

(3)修正の理由

① 平成 29 年 5 月期通期業績予想(連結)

今年度における当社グループの業績は、一般消耗品分野、低侵襲治療分野、及び専門分野においてはほぼ期初計画通りに推移しております。しかしながら、病棟の建て替え等の大型設備案件とそれに伴う設備投資が予想より少なく、一般機器分野における手術室関連機器等の医療機器備品や画像診断機器等の売上、及び情報・サービス分野における医療ガス設備工事等の売上が期初予想を下回って推移しております。例年、国公立病院における予算執行や民間病院における設備案件が年度末にかけて増加する傾向にあることから、年度末に向けてこれらの需要が回復することを見込んでおりましたが、今年度においては、例年に比べ国公立・民間共に設備投資が少なく、現時点において十分な需要回復がみられないことから、通期における売上高が期初予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面におきましても、上記売上の減少に伴う売上総利益の減少に加え、長崎 TMS センター開設に伴う消耗品費や派遣人件費等の一時費用の増加、売掛金に対する貸倒引当金の発生(14

百万円)等により、営業利益、経常利益が期初予想を下回る見込みとなりました。さらに、特別損益において、固定資産に係る減損損失の計上、及び投資有価証券評価損の計上等が発生したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が赤字計上の見込みとなりました。

これらの結果、今年度通期連結業績予想を上記のとおり修正させていただきます。

② 平成 29 年 5 月期通期業績予想(個別)

個別業績につきましては、上記の連結業績予想修正理由に伴い、併せて修正しております。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容(平成 29 年 5 月期)

基準日	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 28 年 7 月 11 日)	—	0.00	—	35.00	35.00
今回修正予想	—	0.00	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成 28 年 5 月期)実績	—	0.00	—	50.00	50.00

(2) 修正の理由

当社では従来、安定的な配当の継続を基本方針とし、配当水準として連結配当性向 30%を基準としております。

今年度親会社株主に帰属する当期純利益が赤字計上の見込みとなりましたことから、期末の配当予想を前回公表しております1株当たり 35 円から、同 10 円に修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上